

エルサルバドル政治経済月報

(2019年3月分)

2019年4月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

内政

1. 地方社会経済開発基金法改正案の可決

21日、エルサルバドル国会は、国家予算から地方自治体への交付金を現在の8%から10%に増加させる地方社会経済開発基金法(FODES)第8改正案を可決した。同改正案には国民共和党(ARENA)、ファラブンド・マルティ民族解放戦線(FMLN)、国民団結党(PCN)の所属議員が賛成票を投じ、国民統合のための大連合(GANA)及びキリスト教民主党(PDC)の所属議員が反対票を投じた。

賛成票を投じた国会議員たちは、今般の改正により、年間9千5百万ドルの交付金が国家予算より地方自治体に拠出されることになり、これらの予算は地方開発に投資されることになると、改正の意義を説明している。

他方、ブケレ次期大統領、当国シンクタンクのエルサルバドル経済社会開発財団(FUSADES)等は、財源のめどが立たないFODESの改正は、国家財政に対する無責任さの表れであると批判した。

2. 大統領就任式を巡るブケレ次期大統領と現政権の対立

26日、ブケレ次期大統領が自身のフェイスブックにて、現サンチェス・セレン政権が6月1日に予定されている同次期大統領の大統領就任式に向けた準備会合を中止する決定を下したとして現政権を批判した。これに対し、現政権側は、準備を進めているが、ブケレ陣営側が担当者を決めないなど、ブケレ陣営側の対応に問題があると主張した。

28日、ブケレ次期大統領が同問題に関し、現政権との接触を絶つ旨発言し、両者は対立を深めている。

外交

1. ブケレ次期大統領のメキシコ訪問

11日～12日、ブケレ次期大統領はメキシコを訪問し、ロペス・オブラドール墨大統領、エブラル墨外相等とそれぞれ会談した。

2. ブケレ次期大統領の米国訪問

12日～15日、ブケレ次期大統領は米国を訪問し、ヘリテージ財団で講演を行った他、ヘイル國務次官、ボルトン米国家安全保障担当大統領補佐官、Huger ミレニアム挑戦公社（MCC）副会長、Bohigian 海外民間投資公社（OPIC）副会長等とそれぞれ会談した。

3. サンチェス・セレン大統領の第8会カリブ諸国連合首脳会合への出席

28日、サンチェス・セレン大統領はニカラグアのマナグアで開催された第8会カリブ諸国連合（ACS）首脳会合に出席し、気候変動によって生じる諸問題に対応し、各国国民が抱える脆弱性を低減させ、より持続可能な未来を構築することを目的に、各国が一体となって取り組んでいくよう呼びかけた。

4. 米国議員団のエルサルバドル訪問

29日～30日、Eliot Engel 米国下院外交委員会委員長をトップとする超党派下院議員団がエルサルバドルを訪問し、米国際開発庁（USAID）が実施するプロジェクトの視察を行った他、ブケレ次期大統領と会談した。

経済

1. 天然ガスプラント

（1）21日、エルサルバドル国会は、アカフトラにおける液化天然ガスの第一発電所 Energía del Pacífico 建設計画の実施に必要なコンセッション（50年間）を承認した。

（2）同発電所（発電能力378MW）は中米における最初のガスプラントとなり、2021年7月から操業予定。

（3）投資総額は約10億ドルで、Finneva-KfW、世銀IFC、米国海外民間投資公社（OPIC）などの融資をもとに、建設はフィンランド企業Wartsilä社が実施する。

2. ムーディーズ社による評価

22日、米格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスの報告書に関する記事が掲載された。同報告書では、財政赤字の補填及び本年返済期限を迎える8億ドルのユーロ債の返済のために13億ドルの予算が計上されたことによって、資金の流動性にかかるリスクは軽減されたとしつつも、政治勢力間の合意形成に向けた政治的リスクは引き続き高い点が指摘された。またブケレ次期大統領が選挙キャンペーン中に掲げた財政に関する公約が実際政策にどのように反映されるか不透明

なことも政治的リスクとして挙げつつ、債務未返済等のクレジットイベントが発生する可能性につき警告した。

3. エルサルバドル国際空港の PPP, ラ・ウニオン港コンセッション入札：次期政権へ

(1) 米国が協力する FOMILENIO 第 2 フェーズのもとで進められていたエルサルバドル国際空港貨物ターミナル運営を PPP に委ねる計画は、空港港湾運営委員会 (CEPA) が同計画の入札図書案等の承認を却下した 2018 年 11 月以降中断していたが、プレイテス FOMILENIO 第 2 フェーズ代表は、同計画の再開に関心を示すブケレ次期大統領に対し、報告書を提出し、同計画を次期政権に委ねる旨明かした。

(2) バネガス CEPA 総裁は、ラ・ウニオン港コンセッション入札につき、今から入札公示を行っても落札判定が新政権発足後になるため、現政権下では同入札を行わない旨公言した。

4. 2018 年経済成長率 2.5%

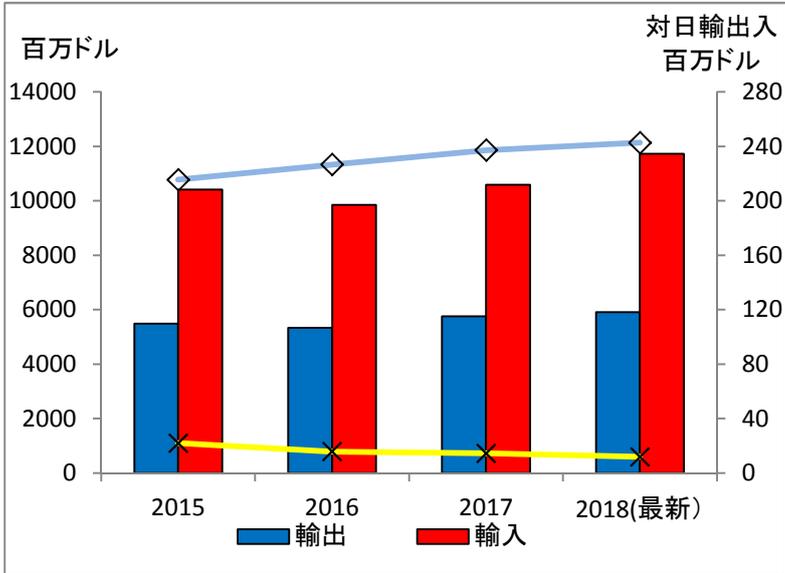
(1) 29 日、エルサルバドル中銀は、2018 年のエルサルバドルの経済成長率が 2.5% (前年比 0.3% 増) を記録した旨発表した。

(2) 中銀によると、最終消費支出が 2.4% 増、投資が 6.8% 増となったことが経済成長率の上昇に寄与した。

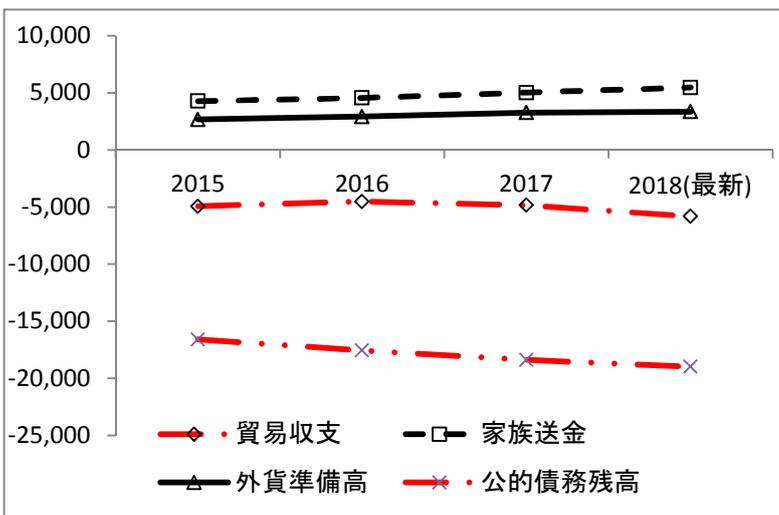
(3) 最も活力のあった 2018 年の経済活動としては、建設 (平均 6.6% 増)、採掘・採石開発 (6.8% 増)、運営サービス・サポート事業 (コールセンターなど) (4.8% 増)、宿泊・外食関連 (4.2% 増) が挙げられた。

(4) 2018 年の海外直接投資は総額約 1,885 百万ドル、純額約 840 百万ドルとなり、5.4% 増となった。主要投資先は工業 (49.2%)、商業 (11.7%)、金融 (10.5%) で、主に米国企業からの投資であった。

(5) 中銀は 2019 年の経済成長率を 2.4% と予想している。一方、世銀による 2019 年のエルサルバドル経済成長率予想は 2.6% となっている。

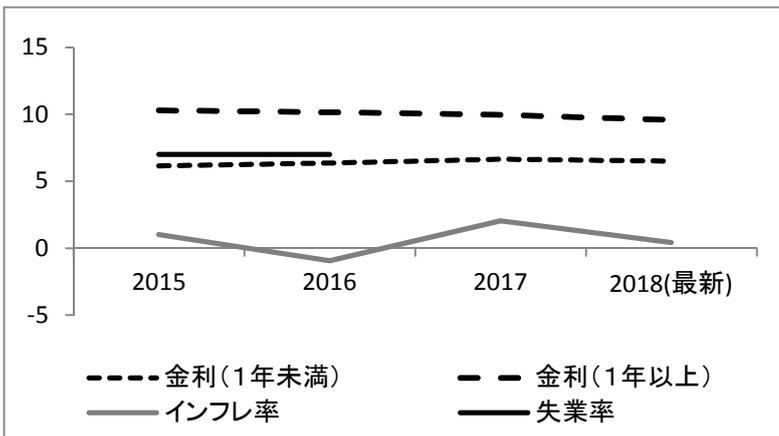


・2018年の輸出額は59億447万ドルとなり、前年比で2.5%増加した。輸入額は117億2580万ドルとなり、前年比で8.7%増加。



・2018年家族送金額は54億8,210万ドルとなり、過去最高額を記録。その内、米国からの送金は全体の93%を占めていた。

・貿易収支は-58億2,134万ドルとなり、貿易赤字は前年比で20.5%増加した。



2018年のインフレ率は0.43%となり、前年と比較し、1.61ポイント減少した。

治安

【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、2月の殺人件数は206件となり、昨年同時期と比べると約22%減少（2018年同時期よりも140件減）。大統領選挙後も大きな混乱や暴動等、発生してはいたないが、連日、各地にて殺人事件や銃撃戦等が報道されていることから、今後も治安情勢を注視していく必要がある。

2. 3月12日付、当地主要紙の報道によると、アポパ市内を走行する公共路線バス（ルート117）に対して、二人乗りのバイクが近づき、銃器にて発砲後、逃走する事件が発生。治安当局によると、本事件における死傷者は出でず、現在まで、襲撃犯の逮捕には至っていない。

なお、アポパ市は、危険レベル2（不要不急の渡航は控える）に指定されており、3月10日の深夜帯には、マラスと治安部隊の銃撃戦が同市内にて発生。その結果、マラス側4名が死亡、治安部隊側1名が負傷した。

3. 3月18日付、当地主要紙の報道によると、2019年に入り、交通事故による死亡者数は300名以上となった。その主な原因として、運転不注意が上位を占め、次いで、スピード超過や飲酒運転が挙げられている。

4. 3月27日付、治安当局は3月中に189件の暗殺が行われたことを把握しており、一日あたりの平均は7.6件であるが、年間平均（8.1件）と比較しても低い傾向とのことだが連日殺人事件の報道が絶えず、被害に巻き込まれぬよう注意する必要がある。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 3月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

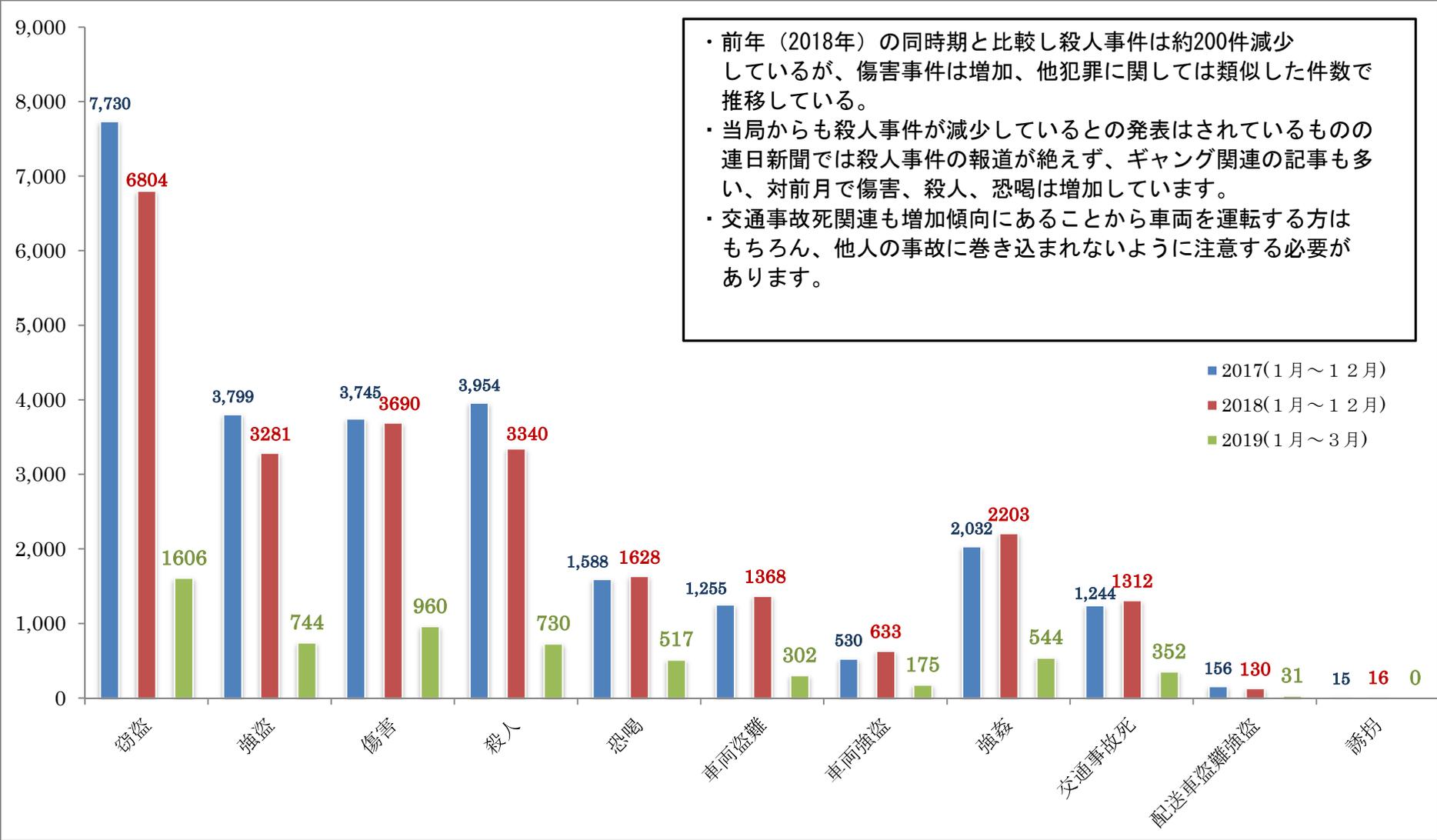
【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリノ児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（3 月）過去 2 年の状況



主な大使面談来館者

- 3月1日 欧州c, 南米各国大使 10名: 懇親会
- 3月4日 JICA 古川安全管理部長他 4名: 当国治安関係打合せ
- 3月4日 エルサルバドル商工会議所 Steiner 会頭, 副会頭: 経済見通しなど打合せ
- 3月5日 AMEXCID3名: メキシコとの三角協力打合せ
- 3月5日 Canjura 教育大臣, 6 地方自治体: 草の根協力署名式
- 3月6日 UNDP 吉田氏: 打合せ
- 3月7日 GENTECH 社: 打合せ
- 3月18日 JICA 人間開発部関係者 4名: 打合せ
- 3月18日 新コスタリカ Ajoy 大使: 表敬挨拶
- 3月18日 日本企業懇談会参加企業 10社: 懇談, 打合せ
- 3月19日 コロンビア NEC 社: 打合せ
- 3月19日 6 地方自治体: 草の根協力署名式
- 3月19日 新中国 Ou 大使: 表敬挨拶
- 3月20日 Lorenzana 歯科医, コンサル Rourke 氏: 医療センター打合せ
- 3月22日 UNDP Braga 新代表: 表敬挨拶
- 3月22日 SATREP 地熱開発関係者(東北大学)7名: 現状報告会
- 3月22日 国費留学生 3名: 激励会
- 3月25日 双葉インターナショナル, ライト工業: 打合せ
- 3月25日 在エルサルバドル世界赤十字 Martin 代表: 打合せ
- 3月25日 FESA(スポーツ教育振興財団) Bahaia 会長, 副会長: 打合せ
- 3月26日 Santa Tecla 市 d' Aubuisson 市長他: 2021 年中米オリンピック打合せ
- 3月26日 ASEJA 新会長, 役員: 表敬
- 3月27日 日本経済大学都築学長, 竹田津教授: Conamype 留学生受入れ関係
- 3月29日 新アルゼンチン Ruffi 大使: 表敬挨拶

(大使の外出打合せ・訪問件数: 23 件)